

子どもの自殺防止のために 全国156か所が「学校ムリでもここあるよ」と名乗り出る

■□ 8/19~9/13 学校ムリでもここあるよキャンペーンのお知らせ □■

<https://cocoaru.org/>

「2019年自死対策白書」によると、2018年に自死した19歳以下は前年比32人増の599人、「自死死亡率」も統計を取り始めた1978年以降最悪となりました。大人の自死が減っている一方で、10代の自死は2010年以降増加し続けています。特に夏休み明けの若者の自死率が高く、学校という場が、子ども達にとって死を選ぶほどの心の負担になり、また周囲にそのことを相談できる関係がないことが伺えます。

相談する人や居場所がない、学校に行くのがつらい、生きづらいと考える子ども達のために、「特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク」、「特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会」、「多様な学びプロジェクト」の3団体は、夏休み明けの子ども達の自死を防ぐ「学校ムリでもここあるよ2019キャンペーン」を共同で実施します。学校や家庭以外でも、安心できる居場所や相談できる場所があることを、特設サイト「cocoaru.org」で紹介したり、共通ハッシュタグ「#学校ムリでもここあるよ」で、SNSにて子どもたちの声を集め、「学校以外の場でも子ども達を受けとめるよ」「社会全体で子ども達を見守っているよ」と、子ども達に伝えていきます。

(1) 8/19(月) オープニングイベント(東京お茶の水) <https://cocoaru.org/news/opening-event/>  
 キャンペーン開始を記念して、日頃から子どもの居場所に関わる活動をしている大人が集まり、トークセッションを行います。オンラインでも同時配信し、視聴者のみなさんと一緒に考える時間も用意します。

日時：2019年8月19日(月)13:30開場、14:00~16:00(会場の都合で30分早まる可能性あり)

場所：お茶の水エデュケーションプラザ(東京都千代田区神田駿河台4-6 ソラシティアカデミア 5F)

オンライン同時中継URL：<https://youtu.be/KgIt7T2iHwE>

登壇者

石井志昂：「不登校新聞」編集長

小幡和輝：「#不登校は不幸じゃない」発起人

松江比佐子：認定NPO法人チャイルドライン支援センター代表理事

関戸博樹：特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会代表

江川和弥：NPO法人フリースクール全国ネットワーク代表理事

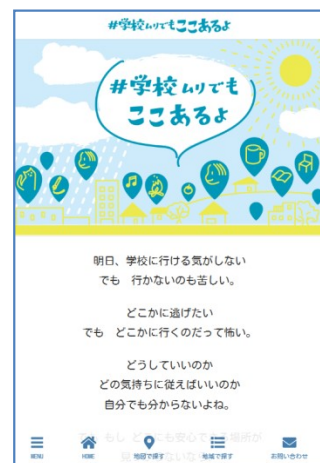
生駒知里：「多様な学びプロジェクト」代表

(2) 学校外の居場所や相談場所の特設サイト「cocoaru.org」の開設

URL：<https://cocoaru.org/>

登録団体数：156団体(2019年8月15日現在)

内容：場所の開放、無料体験、メール相談、電話相談などが可能な団体を紹介



■ここあるキャンペーン2019実行委員会 概要 <https://cocoaru.org/>

主催：NPO法人フリースクール全国ネットワーク、多様な学びプロジェクト、NPO法人日本冒険遊び場づくり協会

後援：NPO法人全国子ども食堂支援センターもやい、認定NPO法人チャイルドライン支援センター

協力：広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

□本リリースに関するお問い合わせ先 [info@cocoaru.org](mailto:info@cocoaru.org) (生駒・下津) twitter：@cocoaruorg